

キリスト教の三大祝祭日は、キリストが誕生したことをお祝いするクリスマス、キリストが復活したことをお祝いする復活祭(イースター)、そして、聖霊が弟子たちに注がれて教会がスタートしたペンテコステです。今年のペンテコステは、6月4日にあたります。

その二つに比べて、ペンテコステは一般的にあまり知られていません。ペンテコステとはギリシャ語で50番目という意味があります。あることから数えて50日目にお祝いされるユダヤ人のお祭りなので、ペンテコステといえます。ペンテコステの祭りは、五旬節ともいわれます。

五旬節(ペンテコステ)です。過ぎ越しの祭りの起源は出エジプト記12章にあります。エジプトで奴隷状態にあったユダヤ人を救い出すために神はモーセを遣わされました。

うものでした。神はユダヤ人の初子を救うために、モーセを通して言われました。「子羊の血を門柱と鴨居に塗りなさい。そうしたら、その家にはさばきは下さない。子羊の血

出エジプトの時代、子羊の血によつてユダヤ人の命が救われました。これは時を経て登場するイエス・キリストの十字架を指し示しています。即ち、キリストが十字架で血を流して死ぬ事によって全人類を救うということです。

聖霊なる神様がくだって来られた時の様子は、新約聖書の使徒の働き2章に詳しく記されています。そのとき、弟子たちに奇跡的なことが起こりました。それまで勉強した事のない外国語を突然語る事ができるようになったのです。それは異言(いげん)の賜物と言われます。なぜ弟子たちに異言の賜物が与えられたのでしょうか。それは、何年もかけて外国語を学んでから、宣教活動をするのではなく、神の力によって瞬間的に外国語をしやべる賜物が与えられて、福音を宣べ伝えるためでした。このようにして教会が始まりました。それが神の計画だったのです。イエスが天に帰られたあ

南加キリスト教教会連合

ペンテコステの恵み

上野 五男

しかし、エジプトの王パロはユダヤ人をエジプトから出さす許可を与えなかったため、神は次々に災いを下されました。10番目の災いがエジプトの初子(ういご)を殺すとい

を見てさばきを下すのを通り越そう。エジプトにいたユダヤ人たちは子羊の血によつてさばきから救われたので、これを記念として過ぎ越しの祭りを祝うようになりました。

と、意氣消沈していた弟子たちに聖靈が臨んで下さいました。力と励ましを与えられた弟子たちは、数多くの困難や迫害にも負けることなく、大胆に宣教の働きをしていきました。その結果、世界中に福音が伝えられるようになり、次々に教会が誕生していったのです。

現代に生きる私たちも、いろんな困難に遭遇します。キリストの弟子たちが生きていた時代に比べて非常に便利な時代になりました。しかし、どんなに科学文明が発展しても、人間のかかえる問題は尽きる事ありません。私たちは、いろんな試練や困難にあつて失望してしまうときがあります。人間の力ではどう

することもできない困難な状況の中に陥ってしまうときもあります。そんなときに助けて下さるお方が聖靈なる神です。聖靈なる神に祈り求める時、勇氣と励ましが与えられます。

最後に、第35代アメリカ合衆国大統領であつたジョン・F・ケネディが演説の中で引用した聖書のことば（イザヤ書40章30節―31節）を紹介します。

「若者も疲れ、たゆみ、若い男もつまずき倒れる。しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかって上ることが出来る。走つてもたゆまず、歩いても疲れな

い」
(ぶどうの木国際教会牧師)